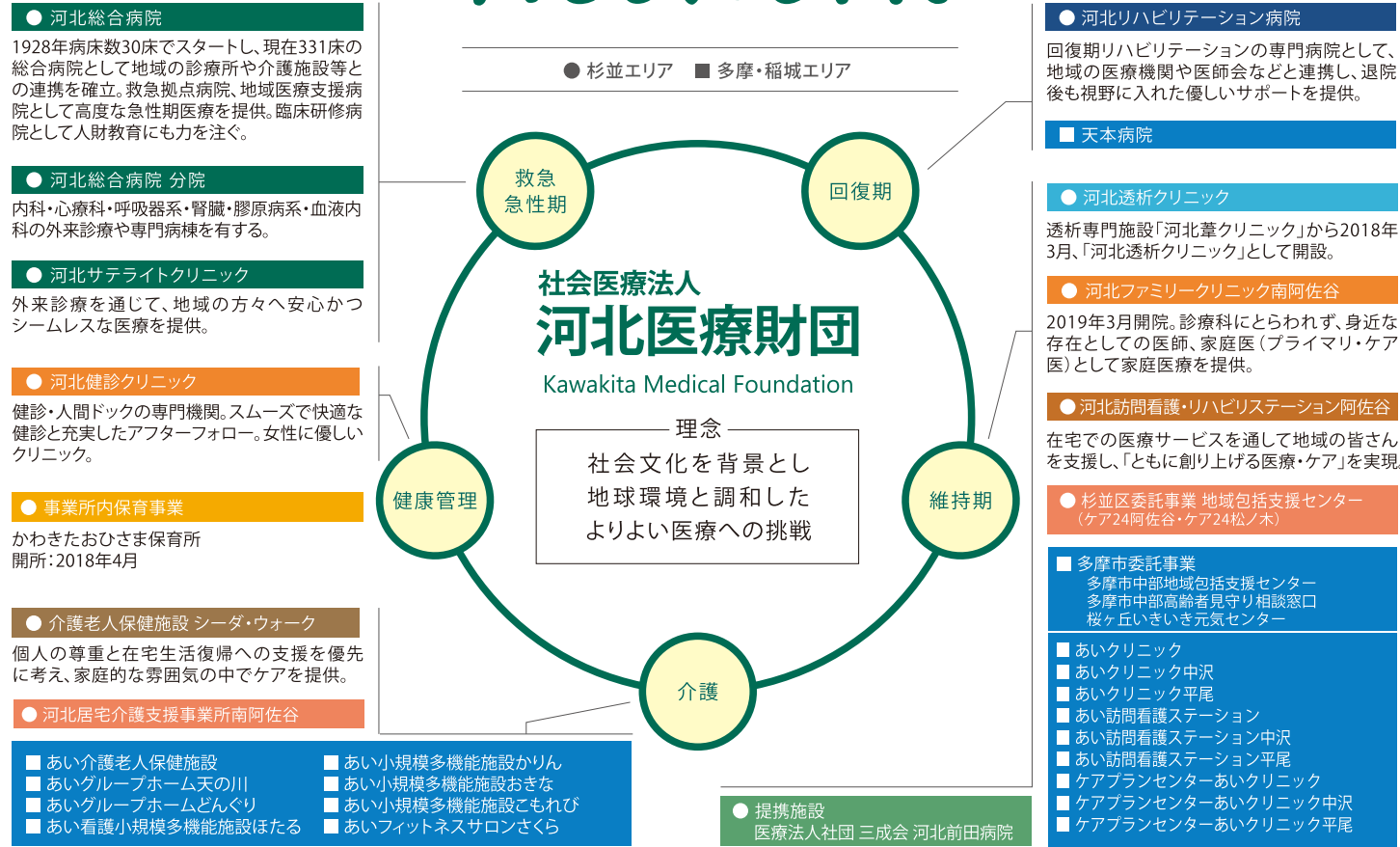


Kawakita Health Support Network



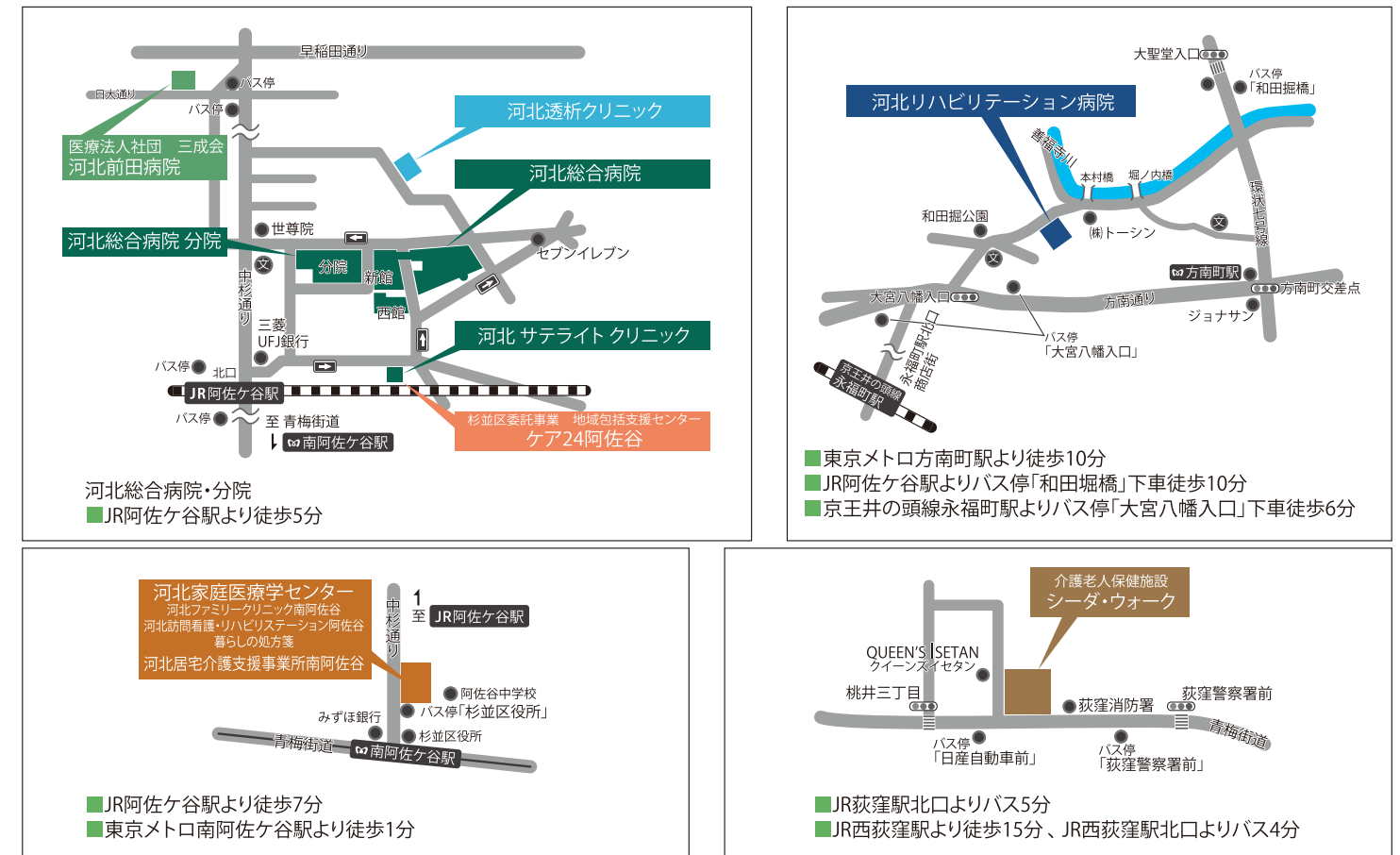
2025年6月(予定) 河北総合病院が新しく生まれ変わります

■ 新病院の概要 (予定)

杉並区阿佐谷北1-904-1 地上9階 (駐車場 地上1階 / 地下1階) 病床数: 390床

新病院イメージ

河北総合病院 新病院情報



応募

申込希望の場合は電話・メールにて、氏名、職種、説明会および見学希望日、学校名、連絡先電話番号をお知らせください。

見学・説明会 (WEB可)	2023年5月1日～2024年2月29日 随時 ※ 申し込みは2週間前まで 13:15～ 河北総合病院 15:30～ 河北リハビリテーション病院 ※シーダ・ウォーク(希望者のみ)
選考方法	書類選考、適性検査、小論文、個別面接 ※ 試験内容は変更になる場合があります
採用試験	5月～ 毎月第2・第4金曜日 受験希望の方は、試験希望日の1週間前までに必要書類をご郵送ください ※ WEB面接も対応可能ですのでご相談ください ※ 定員に達し次第、終了となります。詳細はHP等でご確認ください
応募締切	
提出書類	①履歴書・職務経歴書(財団指定) ②個人情報の取り扱いについて・同意書(財団指定) ③成績証明書 ④卒業見込証明書 ※ 履歴書のメールアドレスの欄に、必ずPCのメールアドレス(携帯のキャリアメール除く)をご記載ください ※ ①・②はホームページからダウンロードをしていただけます
その他	作業療法士、言語聴覚士に限り、ご入職時に就業支度金として15万円支給いたします また、ご希望の方には転居費用補助制度もございます(諸条件あり)

採用サイト

お問い合わせ

社会医療法人 河北医療財団 人事課 採用担当

〒166-8588 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
求人専用ダイヤル:03-5327-6226 (受付:月～土 9:00～17:00)
email: saiyou-jinji@kawakita.or.jp

公式 SNS やってます

Facebook Instagram YouTube LINE 河北医療財団 ホームページ

知って得する 河北情報



セラピストとして、生きていく。

2024年度版 採用のご案内
Rehabilitation Section
Shuginami Area

社会医療法人 河北医療財団

河北医療財団リハビリテーション部門では地域医療に貢献できる、“視野の広いセラピスト”を求めています。

河北=総合力で地域の期待に応えられるよう、私たちと共に真心をもったリハビリテーションを提供してまいります。

- 臨床** 様々な経験が積めます! 予防・急性期・回復期・生活期・終末期、小児・成人・高齢者の方を対象とした幅広いリハビリ実践
- 教育** 社会人・医療人・専門職として成長できます! 充実した教育体制
- 研究** 研究、学会発表、資格取得等にチャレンジできます! 研究・認定資格が取得できる環境を整備

Hi! / 河北リハビリテーション病院 セラピー部 森山部長

SKILL UP

卒後教育体制

全体研修

社会人・組織人・医療人としての基礎を身につける研修です。

初期研修

社会人としてのマナー、医療人としての態度、そしてセラピストとしての基礎知識・技術を学ぶ研修です。

後期研修

財団の他施設研修を通して、視野を広げる研修です。

キャリアラダー

組織人、セラピストとしての自立 → 組織貢献できる人材

臨床系										専門系・管理系		
STEP I		STEP II				STEP III			STEP IV		STEP V	
class1	class2	class3	class4	class5	class6	class7	class8	class9	class10	class11	class12	class13
新入職	研修期間		自立	指導者としての準備	指導者としての成熟				リーダー、所属長補佐			管理職(所属長)
初期研修(2年間)		後期研修(1年間)		シネラリスト(急性期・回復期・生活期を全て経験済、病期・疾病を問わず対応可等)								
社会性(対人行動、集団行動、社会的関心)												
臨床(医療安全、評価治療、チーム医療、記録・報告、職場役割、異動)												
教育(初期研修、後期研修、学生指導、新人指導、制度理解)												
研究(発表会への参加、課題抽出、研究実績、臨床への応用)												
マネジメント(安全管理、労務管理、情報管理、経営管理)												

研修風景

新人研修・・・上期(各療法に特化)・下期(リハビリテーション)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体研修	シーティング	車イス	整形外科	GUS	公認心理師	排泄について	腎機能と運動処方	糖尿病とリスク管理	心不全とリスク管理		財団合同研修会
回復期リハビリテーション病棟協会研修会	症例報告	調整の仕方	整形疾患・運動療法	歩行分析装置	講義	症例発表	症例発表	症例発表	症例発表		

2021年入職
川合 紗夢さん
理学療法士
(河北総合病院)

01
河北リハビリテーション病院にて3ヶ月研修

02
配属先決定OJT先輩と共に

03
症例発表は4回(8・9・11・1月)実施

04
1年を振り返って先輩も登場

主な活動

合同研修会・研究発表

質の高い、より良いリハビリテーション医療を提供するために、セラピストの知識・技術の向上と共有を図っております。また研修会を通して、顔の見える関係づくりをおこなう、財団内の施設間連携を深めています。

地域活動

河北医療財団は地域医療を守り、杉並区に住む方の健康増進、疾病予防にも積極的に取り組んでおります。健康教室や介護予防教室などを開催し、運動・介護指導などに取り組んでおります。また近隣の小学校にて『命の授業』の講師としてもお手伝いをしております。

スタッフ紹介

認知症初期集中支援チーム

地域でその人らしく生活することを支援しています!

認知症初期集中支援とは、認知症になっても住み慣れた生活環境で質の高い生活が送れるよう、医療と介護が連携しその環境を作るための初期の関わりを集中的に支援するために国の施策において発足したものです。普段は訪問リハビリテーション部門に所属し、地域で生活する方々が、その人らしく生き生きと生活が送れるよう支援していますが、その経験や専門性を活かして地域で働けることへやりがいを感じています。

訪問リハビリテーション部門 OT
高野 瑞恵
横浜リハビリテーション専門学校卒業

転職や異動を通して感じる当院の魅力

河北リハビリテーション病院 ST
川瀬 量子
新潟医療福祉大学卒業

回復期から急性期、そして再度回復期へ

岐阜県の回復期病院を退職後、更なる勉強目的に当院へ転職しました。7年目の転職でしたが、DrやSTをはじめ全職種の方が協力的・積極的であり、指導を受ける機会や相談しやすい環境に恵まれながら勤務ができました。そのおかげで患者さんの状況に合わせて、いつどの程度のST支援ができるのか、リスクを考慮しながら経験を重ねることができ、特にSTとして嚥下機能の理解を深めることができました。STの仕事の難しさと同時にやりがいや責任感を強く感じることができ、現在は回復期に戻り、その経験を後輩育成や患者さんに活かせるよう邁進しています。

日本理学療法士協会認定理学療法士(脳卒中・運動器・臨床教育)

財団内での急性期、回復期、外来リハビリテーションでの経験を生かし、支援しています

これまで回復期で脳卒中、運動器疾患を多く経験してきました。日々出会う患者さんの力になりたいと思い、知識・技術を高めようとして勉強してきました。財団内では急性期、回復期を経験し、外来リハビリテーションでは退院後の患者さんを支援させていただきました。現在は、河北リハビリテーション病院で、教育担当として、患者さんだけでなく、スタッフ支援や実習生の指導に取り組んでいます。

河北リハビリテーション病院 PT
波多野 陽子
日本リハビリテーション専門学校卒業
日本理学療法士協会認定理学療法士(脳卒中・運動器・臨床教育)

がんのリハビリテーション

患者さんのQOL向上をめざして

がんのステージを問わず、様々ながん患者さんを対象として、術後・化学療法後の能力向上だけでなく、精神的なケアや病気に応じた患者さんのQOL向上をめざし、日々リハビリをおこなっています。また、パンフレットを作成し、術後のケアとして日常生活や自主トレーニングの指導を実施しています。リハビリをおこなう機能が回復するイメージがありますが、がんのリハビリでは必ずしも回復が望めるわけではありません。患者さんの希望や、病気の進行に合わせたリハビリ提供が必要です。難しく感じる事も多くありますが、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

河北総合病院 OT
六角 真弓
横浜リハビリテーション専門学校卒業

異動を経験して視野の広いセラピストに

異なる病期での経験を活かして、活動・参加の支援をおこなっています

デイケアでは「通所中の1日全体がリハビリ」です。機能面だけでなく、ご利用者さんの興味や関心に重きを置き、活動・参加の視点でリハビリテーションを提供しています。急性期では想像しきれなかった視点を体験でき、スキルアップに繋がると感じます。異なる病期の患者さんやご利用者さんとの関わり、セラピストとして視野が広がり、とても楽しく働くことができます。どの病期でも活動と参加への橋渡しが担えるよう今後も精進していきたいです。

介護老人保健施設シーダ・ウォーク PT
西崎 里緒
玉野総合医療専門学校卒業

腎臓リハビリテーション

河北透析クリニックにて透析患者さんに対しリハビリテーションを実施

内部障害リハビリテーションの分野は、近年その対象疾患がますます拡大しています。心臓・呼吸器・腎臓機能障害等の重複を認める場合もあり、生命予後の改善やQOLの向上を目的としています。河北透析クリニックでは、透析中の運動療法や、透析のない日の運動指導をおこなっています。専門性を生かした活動と、リスク管理等、総合的な知識を要する現場で学ぶことは多く、日々やりがいを感じています。当財団内のリハビリテーション部門としても、急性期・在宅リハと連携して患者さんに関われる事も当院の大きな強みだと思います。

河北透析クリニック PT
浅倉 円花
帝京科学大学卒業
東京糖尿病療養指導士

新天地で新たな学びとスキルアップを求めて

回復期病棟は患者さんを在宅生活に復帰させるためのリハビリテーション専門病棟です

2021年5月に愛知県から中途採用として入職しました。前職では回復期病院でレッドコードを使った治療を主にしておりましたが、河北リハビリテーション病院に入職し、毎日たくさんの新しい刺激を受け楽しく日々を過ごしております。日々の臨床で理学療法士として自分のスキルアップに繋がるものを多く得られていると感じています。私は回復期病棟に務め、自分のスキルがどのように活かせるかを常に考えて臨床に取り組んでいます。少しでも多くの方の人生に貢献できるように今後も努力していきたいです。

河北リハビリテーション病院 PT
山田 しおり
名古屋医専卒業

教育体制とキャリアアップ

スタッフのキャリアアップを応援してくれる職場環境があります

大学を卒業して河北リハビリテーション病院に入職し11年目を迎えました。当院では高齢者の方を中心に様々な疾患を対象となり、幅広い知識が身に付きます。年々卒後教育も充実してきており、少人数のチームが組まれているため相談もしやすい環境です。また、私は常勤で働きながら大学院に通っており、各スタッフの希望や事情に合わせた勤務体制などの相談を受けてくれる職場です。

河北リハビリテーション病院 PT
鎌倉 宗史
健康科学大学卒業
国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野 保健医療修士号

地域住民向け健康情報発信

地域住民の健康向上をめざし定期的な健康情報発信を企画しています

回復期のリハビリテーションでは入院中のリハビリだけでなく、疾病予防や再発予防など幅広い支援が求められています。地域住民の一人ひとりが生き生きと前向きに生活がおこなえるように、フレイル予防のための支援を地域包括ケアセンターや他職種と連携し、疾病に関する勉強会や医療機器などを用いた体力測定会の企画をしています。また、コロナ禍においてはSNSを通じて体操やリハビリに関連する情報の発信を定期的におこなっています。この活動は作業療法の専門性をより発揮できる分野であり、とてもやりがいを感じています。

河北リハビリテーション病院 OT
落合 克典
聖隷クリストファー大学卒業

心臓リハビリテーション指導士

適切な運動処方と心臓病の再発を予防。運動や生活への不安を解消するお手伝い

河北総合病院では、心大血管(特に心臓血管外科術後患者、心筋梗塞、心不全)の患者さんのリハビリテーションをおこなっています。患者さんの生活を維持した自宅退院、社会復帰に向けたプログラムを医師や看護師とチームでおこなっています。近年、心臓リハビリの効果を示されており、再発や再入院率を減らすために重要な役割を担っています。また、心肺運動負荷試験をセラピストがおこなっているため、心肺機能の評価と運動処方を正確におこなうことができ、設備も整っています。当財団スタッフは心臓リハビリテーション学会に積極的に参加しています。

河北総合病院 PT
雨宮 知樹
常葉学園静岡リハビリテーション専門学校卒業
日本理学療法士協会認定理学療法士(循環・脳卒中)

急性期

様々な疾病の患者さんに対して、入院早期よりしっかりとリハビリテーションを提供します。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	合計
30	12	5	47

河北総合病院

河北総合病院 分院

急性期病院でのリハビリテーション

回復期

入院生活で経験されるすべてがリハビリテーションとなります。お一人おひとりにあった「オーダーメイドのリハビリ医療」を提供します。

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	合計
73	16	15	104

河北リハビリテーション病院

回復期病院でのリハビリテーション

生活期

多職種連携を図り、その人らしく、住み慣れた地域や家庭でいつまでも生活できるように、生活するための支援をおこないます。

① 介護老人保健施設
シーダ・ウォーク

② 河北訪問看護・
リハビリステーション阿佐谷

理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	合計
① 9	2	0	11
② 3	1	0	4

シーダ・ウォークでのリハビリテーション

総合力

- ◎ 予防・急性期・回復期・生活期・終末期におけるリハビリの実践
- ◎ 小児・成人・高齢者を対象としたリハビリの実践
- ◎ 「臨床」のみならず「教育」「研究」が実践できる環境
※ 各施設へ短期ローテーションにて研修指導をおこなっております。
- ◎ 新人からママさん・パパさん、ベテランまでが働く組織